

「職務の級及び号給決定計算書」の記入例

(様式3)

民間会社等の場合、**会社の形態、採用形態、
週当たりの勤務日数、一日当たりの勤務時間数
及び職務内容**を記入する。

勤務歴がある場合、**社会保険加入の有無**に必ず○を付ける。

管内 ()		職務の級及び号給決定計算書				令和	年	月	日	採用	区分 (大学出当課が○で囲む) 正規・任期付()・臨時的
採用学校	在職期間とずれが生じないように、入学、卒業年を正しく記入する。	任用職名	※フカナ ※氏名	フジマ ハコ 福島 花子	※性別	女	※生年月日	昭和	平成	5年11月21日	
※卒業学校名	※在学期間	※修学年数	※卒業修了 中退の別	※勤務箇所及び職務内容等		※社会保 険加入の 有無	※在職期間	年数	換算率		
郡山市立安積第一小学校	自 H12・4・1 至 H18・3・31	6・0	卒・修・退	無職 (予備校在学)		有 無	自 H24・4・1 至 H25・3・31	.			
郡山市立安積中学校	自 H18・4・1 至 H21・3・31	3・0	卒・修・退	郡山商事(有)、正規採用、週5日、1日8時間勤務、職務内容 (事務)		有 無	自 H29・4・1 至 R2・5・31	.			
福島県立安積高等学校	自 H21・4・1 至 H24・3・31	3・0	卒・修・退	全日本進学塾 (個人)、臨時採用、週4日、1日5時間勤務、職務内容 (講師)		有 無	自 R2・6・1 至 R3・3・31	.			
福島大学 人間発達文化学類	自 H25・4・1 至 H29・3・31	4・0	卒・修・退	〇〇県立〇〇高等学校、非常勤講師 (月手当) (初任研)、週当たり4日勤務、授業担当時間数16時間		有 無	自 R3・4・1 至 R4・3・30	.			
	自 至	.	卒・修・退	無職		有 無	自 R4・3・31 至 R4・3・31	.		省略可の無職期間	
				〇〇県立〇〇高等学校、時間講師 (初任研)、週当たり4日勤務、週当たり18時間勤務、授業担当時間数14時間		有 無	自 R4・4・1 至 R5・3・30	.			
				無職		有 無	自 R5・3・31 至 R5・9・30	.			
				〇〇県立〇〇高等学校、常勤講師 (欠員補充) (1-△号給)		有 無	自 R5・10・1 至 R6・3・31	.			
						有 無	自 至	.			
給	職給料		時間講師の場合、週当たり勤務日数、週当たりの勤務時間数及び授業担当時間数を記入する。		常勤講師の場合、級及び号給も記入する。		記入枚数について、○枚中○枚目を記入する。		署名する。		
級	号給	年	月	年	月	記入上の注意 1 太枠内 (※印欄) のみ記入すること。 2 採用月日の前日までの職歴を記入すること。					
注：網掛け部分は給与電算入力事項等 (職員課・教育事務所記入欄)											
採用CD	採用年月日	基準学歴	最終学歴	職・格付	発令年月日	昇給経過		採用月	()/12×4	月	号給
		区分	卒業年月			1月	(標準の場合)	月	=	号給	
			年 月					1月		号給	
※ 上記のとおり相違ありません。						令和 5 年 〇 月 〇 日 氏名 (自署) 福島 花子					
※受験種別・教科		高等学校・数学		※受験番号		〇〇〇〇		※ (1 枚中 1 枚目)			

大学中退の場合は、**年度ごとに取得単位数を ()**書きで記入する。

この間は勤務箇所及び職務内容等の欄に記入する。(例:無職(予備校在学))

非常勤講師(月手当)の場合、**週当たり勤務日数及び授業担当時間数**を記入する。
(授業を行わない非常勤職員は、**職名及び週当たり勤務時間数**を記入)

時間講師の場合、**週当たり勤務日数、週当たりの勤務時間数及び授業担当時間数**を記入する。

常勤講師の場合、**級及び号給**も記入する。

記入枚数について、**○枚中○枚目**を記入する。

受験種別(教科)及び受験番号を記入する。

署名する。

記入上の注意
1 太枠内 (※印欄) のみ記入すること。
2 採用月日の前日までの職歴を記入すること。

令和 5 年 〇 月 〇 日 氏名 (自署) 福島 花子
※受験種別・教科 高等学校・数学 ※受験番号 〇〇〇〇 ※ (1 枚中 1 枚目)